

1. 科目名 (単位数)	教育心理学 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2110
2. 授業担当教員	酒井 博美		SJMP2111
4. 授業形態	講義、演習、グループワーク	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	本講義では、人間の発達過程および特徴についての心理学の基礎理論を学ぶとともに、発達段階をふまえての主体的な学習を支える指導の在り方やクラス集団形成について学ぶ。また、保育や教育現場で生じるさまざまな現象に対し、その背景を正しく把握し、有効な対処法を見つけ出す力を身につけることを目的に講義を行う。		
8. 学習目標	1. 幼児、児童及び生徒の心身の発達および学習の過程について理解し、説明することができる 2. 発達段階の心理的特性に基づき、主体的な学びを促す指導への応用する視点を持つことができる		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	第8回と第15回の授業では、これまでの学習内容の習熟度を確認するためのまとめとレポートを実施する。各回の講義内容の理解を定着させるように、毎回の復習を確実にすること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 柏崎秀子『【新2版】教職ベーシック 発達・学習の心理学』北樹出版		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 子どもの発達を踏まえた教育心理学の基本的な知識について理解し、説明できるか。 2. 学んだ知識に基づいて子どもの行動を理解し、教育や保育の現場で応用する力がついたか。 ○評定の方法 1 授業への参加態度 (グループワーク等) 総合点の 30% 2 試験 (小テストまたは期末試験) 総合点の 40% 3 課題 (レポート等) 総合点の 30%		
12. 受講生へのメッセージ	授業で得た知見について、自身の経験および今後自身が対象とする人々、また現代社会の特徴とも関連づけられる視点を獲得するために、討論やグループワークの機会も設けます。積極的に取り組んでください。		
13. オフィスアワー	授業内に周知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業オリエンテーション 教育心理学を学ぶ意義	事前学習	シラバスを確認し、授業準備をする
		事後学習	授業に必要な教材をそろえる
第2回	発達における遺伝と環境の相互作用	事前学習	「発達」の意味を調べる
		事後学習	遺伝と環境の相互作用をまとめる
第3回	身体・運動発達	事前学習	身体発達の特徴を調べる
		事後学習	各時期の身体発達と運動発達をまとめる
第4回	知覚の発達	事前学習	知覚とは何かを調べる
		事後学習	知覚の発達をまとめる
第5回	認知・思考の発達	事前学習	ピアジェの認知発達について調べる
		事後学習	認知発達についてまとめる
第6回	言語の発達	事前学習	言語の発達過程について調べる
		事後学習	言語発達における遺伝と環境の影響をまとめる
第7回	自己意識・対人関係の発達	事前学習	「自己意識」とは何かを調べる
		事後学習	自己意識と社会性の発達の関連を考察する
第8回	中間のまとめとレポート	事前学習	レポート作成の準備をしておく
		事後学習	これまでの授業を振り返り、わからないところをまとめる
第9回	学習理論①行動理論	事前学習	レスポンドント・オペラント条件づけについて調べる
		事後学習	条件づけについてまとめる
第10回	学習理論②認知理論	事前学習	観察学習について調べる
		事後学習	観察学習についてまとめる
第11回	動機づけ	事前学習	「動機づけ」とは何かを調べる
		事後学習	子どもの動機づけの方法を考える
第12回	学習評価の方法	事前学習	平均値と標準偏差の考え方を見直してくる
		事後学習	多様な学習評価の方法をまとめる
第13回	主体的な学びを促す①教師の指導	事前学習	教授法について調べてくる
		事後学習	主体的な学びを促す教師の指導について考察する
第14回	主体的な学びを促す②集団づくり	事前学習	協働学習について調べる
		事後学習	主体的な学びを促す集団作りについて考察する
第15回	最終のまとめとレポート	事前学習	レポート作成の準備をしておく
		事後学習	これまでの授業を振り返り、全ての内容を理解できたか確認する